

鹿児島県まちづくり・建築政策特別アドバイザーと 知事との会談（概要）

日 時 令和5年8月21日（月）15：30～15：46
場 所 庁議室
出席者 塩田知事，国吉直行氏，坂茂氏（オンライン）

○良好な景観形成を図るために重要なことについて

（国吉氏）

- ・ 街はどんどん成長発展していくもの。その街固有の資産を成長発展させるところから始め、新しい価値も導入していく。文化資産・自然資産を絶対守らないと駄目、ということはない。守るべきところ、変えていくところと（あって良い）。
- ・ ウォーターフロントパークは大事にすべき価値だと思うが、同じような形で残すのか、変わっていてもいい。
- ・ 新旧を対比的に見せていくこと等を含め、景観づくりを大事にしたい。

（坂氏）

- ・ 今ある独自の景観や歴史をいかに活かしていくのかは重要だが、更に新しい価値として、新しい建築や施設ができることも非常に重要。それがまた核となって、点が線になり、面として都市計画に繋がる。
- ・ 鹿児島には、ぜひ見てみたくなるような近代建築が他と比べて少ない。
- ・ 素晴らしい景観や歴史が既にあるから、それにプラスして（新しい建築による）刺激が与えられて広がっていけば、素晴らしい街になっていくと感じる。

○街に新しい刺激を与える建築について

(坂氏)

- ・ 公共性の高い建築は、まちづくりに非常に重要。いい建築家の設計した建物が、(街に) 刺激を与えていくということが必要。

(国吉氏)

- ・ 街は公共建築だけで成り立つものではない。脇役の小さな建築もセットで街としての魅力。
- ・ 横浜では、公共施設だけではなく民間施設も含め、地区のデザインコンセプトを作り、協力して作り上げていく、ということを継続してきた。
- ・ 鹿児島は桜島，錦江湾があり，この雄大な景観は壊れないと思うが，街並みとセットで見えてみると，その良さを街として活かされてない。

○PFI事業について

(国吉氏)

- ・ PFI事業が重視されている時代だが，管理・運営し易く，ローコストで，となると，街の景観として生きてくるような建築にならない。
- ・ 横浜の場合は，地区全体のエリアコンセプトブックを作り，その内容を事業者に求め，各事業者がどれだけ取り入れたかを審査対象とした。そのようなことをやっていただけたら面白くなる。

(坂氏)

- ・ PFIが元々作られたイギリス，フランスではデザインがとても重視される。
- ・ 日本の場合は，デザインよりもメンテナンスやコストなど，デザイン性以外のことが重視され，デザイン性の高い提案は日本では選ばれない。
- ・ どういうクライテリア（評価基準）で選んでいくかを確立していくことにより，PFIでもいい建築ができる。